リフレクションペーパー

学科名	生物環境化学科、電気通信工学科、建築・デザイン学科、情報学科						
科目名	工業科教育法 [
科目区分		専門科目		単位数	2	開講時期	前期
必修・選択 の別	教職必修						
担当者	平野 剛						
授業の 到達目標 (シラバスから)	・授業の基本的展開と指導が実践できる。 ・日本における中等工業教育の発展の概要を説明できる。 ・工業科目の年間指導計画を作成できる。						
日程と内容	4/8 導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/15 学校教育の機能、現代の学校教育の使命、工業技術教育の理念と社会的役割 4/22 教員の研修、望ましい教師像、ホームルール担任の職務と役割 4/25 学校評価、学校教育と教育行政 5/13 第1回模擬授業 I 5/20 第1回模擬授業 I 5/27 工業高等学校の現状と課題 6/3 工業技術教育の活性化方策 6/10 工業技術教育のあゆみ 6/17 諸外国の工業技術教育の現状 6/24 第2回模擬授業 I 7/1 第2回模擬授業 I 7/8 社会に開かれた工業高等学校 7/15 復習 7/22 定期試験 7/29 総括						
成績評価基準	報告書・	試験 試験 レポート 題	50% 20% 30%	実 部外 プレゼンラ	テーション	10	0%
授業到達目標 の達成度	到達目標の項目	目は概ね講義に慰	盛り込むことが出	来ていると考えて	こいる 。		
反省点)組織運営や教育 テキストの内容に			
	なかった。しかし		·られないので、 .	テキストの内容に			
	なかった。しかし 受講人数にもよ 「授業に刺激さ	∟この内容は避け 	けられないので、データを表表を2回実 関擬講義を2回実 ニか」が3.6と低か	テキストの内容に 施したい。	関する雑学を交	えて興味を引か	せるようにした。